

1. 開成町における教育の充実にむけて今後の具体的施策を問う

社会の変動が勢いを増している。テクノロジーの進歩はその勢いを加速させていくことは言うまでもない。地球の裏側で起きたことがインターネットを通じて瞬時に世界中に伝達される時代にあって今までの常識がある日突然通用しなくなる事例が頻発している。次代を担う子供たちがそのような社会でも活躍できる基礎教育をきちんと提供すること及び生涯学習の充実が喫緊の課題である。

教育の町を標榜する開成町が時代の変化を先取りした教育の一層の充実を切に期待するものである。

そこで次の質問をする。

- ① 小学校における新カリキュラム（外国語、プログラミング）への対応についてその現状及び課題対応策は。
- ② 教師の自己研鑽のための時間確保への取り組みは（教師の働き方改革）。
- ③ 開成町教育振興基本方針（平成 21 年からの 10 年間を計画）を次の 10 年でどう時代の変化に合わせたものにしていくのか。
- ④ 本年 9 月に公表された「開成町 教育改革の取り組み」で示された課題への対応状況は。また、課題への対応状況を今後の評価尺度にする考えは。
- ⑤ 外部人材（町内外、大学、企業、外国人）活用の今後の拡充策は。
- ⑥ 「教育改革の取り組み」で幅広く町民の声を聴く仕組み作りについてはどう考えるか。